

令和3年4月20日
株式会社 宮崎放送

各 位

【MRT×学生】スマートフォンの映像で テレビCMを共同制作

学生プロジェクト第1弾！MRTフリーマガジン「COCOKARA」15秒CM
編

MRT 宮崎放送（本社：宮崎市橘通西4-6-7）では令和3年4月より、県内の学生たちにメディア業界の仕事を経験・理解してもらう機会を増やすため【MRT×学生】プロジェクトをスタートさせました。その第1弾は学生との共同コマーシャル制作。宮崎大学 地域資源創成学部の学生らが企画、撮影、取材、編集まですべてを担当し「自前の機材」だけを使った手作りCMを完成させました。MRTタイムテーブルをPRする、若者らしいアイデアいっぱいの15秒間のテレビコマーシャルが4月10日よりOA中です。



(ロケ地での写真 左：ネクストファーム 株式会社 内田 匡彦代表取締役社長
中央：宮崎大学・地域資源創成学部3年 吉松 大志さん 右：同学部4年 齋藤 悠之助さん)

■【MRT×学生】プロジェクトとは

テレビが憧れの家電であった時代から時が経ち、今やテレビは、「無くても生活出来る家電」の一つに数えられる時代に突入しました。近年、視聴者のテレビ離れが深刻化し、特に若者はYouTubeなどSNSへの依存が増えています。業界全体が視聴率の低下傾向にありローカル各局が苦戦を強いられる中、MRT宮崎放送では、地元放送局として若者にテレビ業界への興味・関心を持ってもらうため、地元の学生と一緒に新たな価値をつくるプロジェクトをスタートしました。



(■左写真 MRTでの打ち合わせの様子 ※右：プロジェクト統括リーダー 牧 巖 取締役 / ■右写真 実際のCM映像)

第1弾は、宮崎大学 地域資源創成学部の学生とともに、MRTフリーマガジン「COCOKARA」の15秒コマーシャルを制作。制作経験のある社員の監修のもと、2人の学生が約1か月かけ、企画から撮影・編集・CM制作のすべてに挑戦。CMは全編、学生が自分のスマートフォンで撮影し、お笑い芸人「バナナマン」の特集記事から発想を得たという学生のアイデアを起用しました。

CMは川南町のネクストファーム 株式会社との協力のもと、バナナ農園内で撮影しました。

参加したのは同大学3年生の吉松 大志さん・4年生の齋藤 悠之助さん。(※吉松さんは大学を休学し「株式会社モーゲンテック」を起業・運営する学生社長)

◆齋藤さん「最初はどんな風に進めるのかイメージが湧かなかったのですが、実際にやってみるとすごく面白かったです。まだテレビで流れる実感がないので、観るのがすごく楽しみです。」 ◆吉松さん「CMを制作する作業はとても面白かったです。流れが分かったので、次はもっと斬新なアイデアを考えてみたいと思いました。」

■今後の展望

大学生に限らず、県内の高校生・専門学校生などあらゆる「学生」にテレビ業界・地元企業で働く魅力や、ふるさとの良さを伝えていくプロジェクトを計画進行していきます。

第2弾はMRTラジオ「土屋有だけどなんか質問ある？」(毎週土曜 午後8時～)のテレビCM制作、第3弾は、MRTテレビ「あさチャン！VOICE」(平日月曜～金曜 午前6時～午前8時内に放送中)のVTR制作に挑戦します！乞うご期待！

本件に関するお問い合わせ

株式会社 宮崎放送 編成業務部 内 MRT×学生プロジェクト

担当 廣島 sakai017@mrt.jp □ 電話 0985-27-2228 (受付 平日9時～17時)